MS-0012　後方用点滴棒用ホルダー

取扱説明書

この度は、本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用の前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に保管しておいてください。

注意・警告

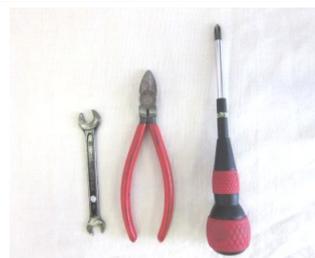
・点滴棒の固定以外での使用はお控えください。
・使用される際は、使用前に必ず固定用のネジ等がしっかりと固定されているかを確認してください。
・車いす後方に本製品とボンベ架等その他のオプションと併用して取付される場合は、ボンベ等の重量の大きいオプションを取りつけた際、後方に転倒する危険性がありますのでご注意ください。また、移乗の際は、注意してご利用ください。
・点滴棒径φ16～φ22㎜に対応しております。
・ボックスホルダーは、テッピングレバー径φ17.5用になっております。φ19用、φ22用（別売り）もございます。適合するボックスホルダーをご使用ください。

はじめにご確認ください

本製品購入後に、はじめて梱包箱をあけるときに、下記のものがすべて入っていることを確認してください。

No.	名称	個数
①	L字金具（ノブボルト含む）	1
②	点滴ボックス	1
③	ボックスホルダー（ボルト、ナット含む）	1
④	結束バンド	1

取付方法

使用工具：10㎜スパナ×1、ニッパー×1、 プラスドライバー×1

1．両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2．点滴ボックスとボックスホルダーを写真①のように組み付けます。
※取付機種がSKT-1、SKT-2、SKT-3、SKT-4、SKT-4Loの場合は、写真②のように組み付けてください。

写真①

写真②

3．手順2で組み付けたボックスホルダーを車いす本体の左右どちらかのテッピングレバーに点滴ボックスが内側の向きに差し込みます。
スパナで2箇所の六角ナットを締め付けます。
※締めすぎると破断の原因になりますので、ご注意ください。

4. 結束バンドを点滴ホルダー上部の穴に通し、写真①のように車いす本体フレームと固定します。固定されていることを確認してください。
※取付機種がラクーネ2(自走)の場合は、写真②のように固定します。

写真①

写真②

5. 背シートを固定しているビスをプラスドライバーで取り外し、受けを内側向きにし、外したビスで固定します。きちんと固定されていることを確認してください。

背折れジョイントのレバーが作業を行うのにじゃまな場合は、レバーを横向きにして作業を行ってください。
※背フレームのネジ山に合うようゆっくり締めてください。ネジ山をつぶす恐れがあります。

6. 点滴棒を取り付け(使用方法参照)固定箇所にガタつきがあるようでしたら、手順3から緩みがないか確認してください。
最後に余分な結束バンドをニッパー等でカットします。
※カットした断面で手や指を怪我しない様ご注意ください。

取付完了。

使用方法

1. 点滴棒(別売り)をL字金具の上部から通し、ボックスホルダーまで差し込みます。

2. L字金具のノブボルトを締めて点滴棒を固定します。

【ボックスホルダーの位置があわない場合】
L字金具の位置を調節します。M5六角レンチでボルトを緩め、前後にスライドさせて位置をあわせてボルトを固定します。

3. 点滴棒が固定されていることを確認してください。

取付完了。

製造元　株式会社 ミキ
〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号
TEL 052-694-0333　FAX 052-694-0800

1303-003